

『高気密高断熱の家』見学会

～断熱強化は施主、設計者、施工者の三方得～



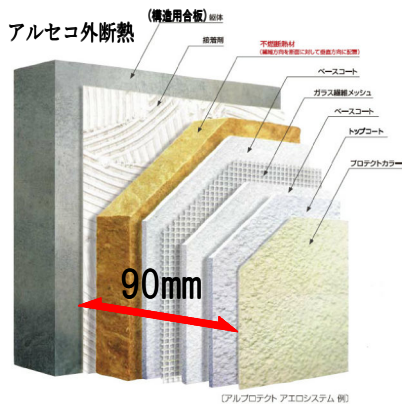
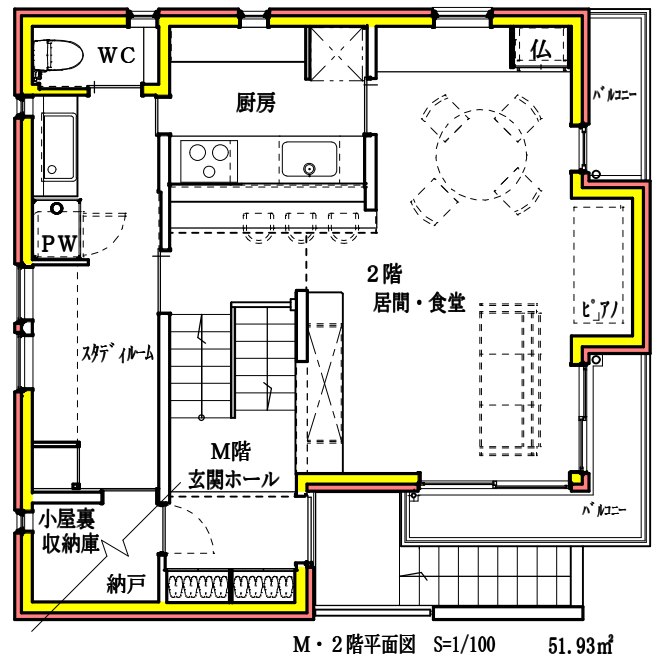
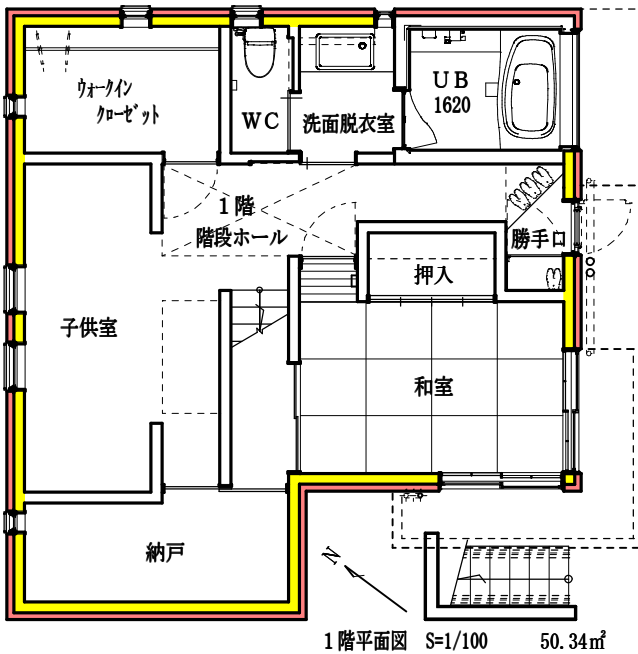
日時： 2017年2月11日（土曜日）

集合： 浦和駅東口 15時出発
バスロータリー（浦50, 50-2系統乗場）

現地： 申込者へメール等でお知らせします。

申込先： 080-4295-2983
（当日連絡先） ikizler0612@i.softbank.jp
H2O設計室 森

予定： 15時半から内覧と全体の説明
16時前後からは断熱材の説明



アルセコ外断熱 ア) 80mm
 セルローズファイバー充填 ア) 120mm

関東甲信越ブロック大会・東京大会から

『現在、車はもちろんのこと、さまざまな家電製品にも燃費が表示されており、購入選択に際しての判断基準になっている。しかし、人生で最も高い買い物とされる住宅には、そうした燃費表示がない。ヨーロッパで制度化されているエネルギーパスは、住宅の“燃費”を数値として、「見える化」する仕組みで、EU圏における住宅の新築や取引に際し、不可欠な指標である。』

大谷口の家	
敷地面積	98.55㎡
建坪率	60%
容積率	200%
建築面積	58.91㎡ 59.77%
延べ面積	104.53㎡ 106.06%
用途地域	第1種中高層住居専用地域
構造概要	木造
Q値・C値	1.85W/m ² K・1.0cm/m ² (次世代努力基準 2.7)
協力企業	株式会社 袋内興業 株式会社 北州アルセコ事業部
設計監理	H2O設計室
施工者	(有)N'sファクトリー

設計AC能力計算 参考『建築知識』（2012年4月号）

必要暖房能力[W] = 対象部床面積[㎡] × Q値[W/m²K] × (設定温度[℃] - 外気の最低温度[℃]) - 4.6 × 対象部床面積[㎡]

必要暖房能力[W] = 100 × 1.85 × (23 - 2.8) - 4.6 × 100 = 3277(W) 常時暖房3.3kW

定格暖房能力[W] = 1.7 × [対象部床面積[㎡] × Q値[W/m²K] × (設定温度[℃] - 外気の最低温度[℃]) - 4.6 × 対象部床面積[㎡]]

定格暖房能力[W] = 1.7 × [100 × 1.85 × (23 - 2.8) - 4.6 × 100] = 6207.4(W) 間欠暖房6.2kW